

レンガ通りから、拡幅が計画されている「谷口前通り」を展望

『谷口前通り』の拡幅

「レンガ通り」→6号国道

地権者の方の82%「賛成」条件

周辺住民も7割は協力的

レンガ通りに続き、通称「谷口前通り」(6号国道まで)の改修、整備計画を進めていくいわき市は、地域住民の方々に三輪・下平線の整備に関する意識調査を実施。その結果を発表した。それによると、整備によるプラス面について、「街並みが整然とまる」「歩行者に便利」としているが、反対に「交通量が多くな環境が悪化する」「営業上不利になる」とマイナス面を挙げる意見も少なくなかった。また、賛成に

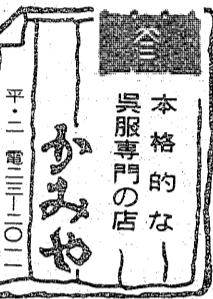
今回のアンケート調査は、アマタ、キタ、トヨタとするため実施したもので、対象区域権利者、周辺住民のほか、

整備後の参考意見を聴いためレンガ通りの権利者、それに区長と商店街会代表者の四グループを対象とした。

項目は居住、営業状況をはじめ、



郵便番号 970-1
いわき民報社
○ 振替口座(郡川)4028
平 0246 ④1666
小名浜支局 0246 ④2666
常磐支局 0246 ④6444
勿 02466 ④2903



大半が定住、営業者

少数反対は環境悪化

一方、最も大きなポイントとなる「あえは賛成」が二十人、「賛成」が五人で双方を合わせると二十七人、全体の八一〇にものぼつておる対象区域「谷口前通り」権利者は、三十三人の回答者のうち「条件が

り、残る六人は「反対」。条件つ

地域民の意識意向を調査



技術と品質で仕事する
宝石専門店 内山

小名浜ショッピングセンター2F
(0246) 54-5227代

太平洋の雄大な景観いっぱいの南三陸
仙巣コハルトラインと志津川

平日 10:00-17:00 土日祝 10:00-18:00

TEL 0246-23-3636 (内線306)

いわき抄

いわき市平出身の若き美術士家が、すばらしい作品を九州の熊本市で完成させた。

このうの本紙で紹介さ

れたばかりなので記憶

も生々しいと思うが、この人は

保されれば、やのほか、「共同

ビルなり」「営業補償が適正であ

れば」としている。反対の場合は

六人中五人が「環境悪化」を挙げている。

また、周辺住民の「協力度」につ

いては、四十四人のうち十七人が

「できるだけ協力したい」、十四

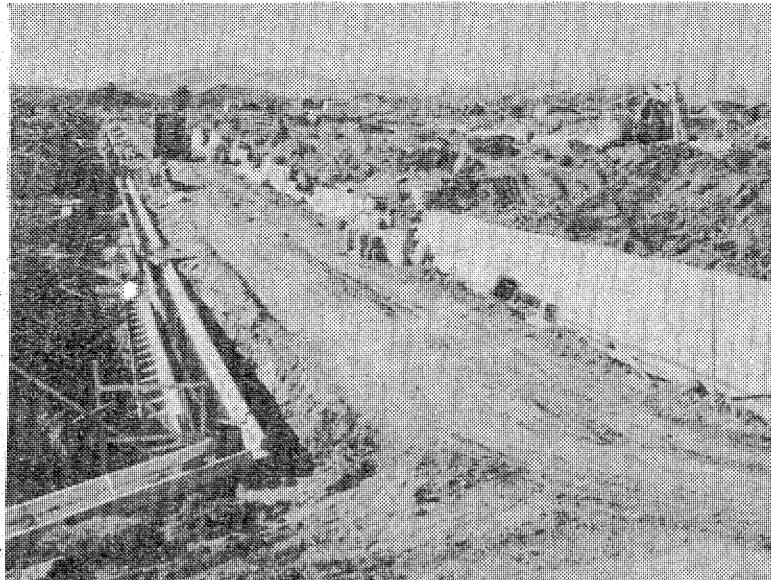
人が「条件が折合えば」とし、

これが「合わせると割は協力する

れば」としている。反対の場合は

六人中五人が「環境悪化」を挙げ

ている。



まごころのこもった 御贈答用品を豊富に陳列、お気軽にご来店ください。
●贈答品・広告マッチ・名入れタオル・うちわ・カレンダー・箸袋・冠婚葬祭お引き物一式

生活に役立つ身近な情報がいっぱい！

市民の夕刊



いわき民報

いつかは「決断」しなけれ
ばならないと思っていたが、
やはり引退することにした。
スタート当時は、とてもヤ
ング向けの、読み物などは
いえないヒドい紙面で、読者
に少しおもてなす感覚をかけた。投
稿はなし、センスが全く欠如
している割り付け……とい
う悪い材料ばかり見当た
つた。それでも50年代当時

いつかは「決断」しなけれ
ばならないと思っていたが、
やはり引退することにした。
スタート当時は、とてもヤ
ング向けの、読み物などは
いえないヒドい紙面で、読者
に少しおもてなす感覚をかけた。投
稿はなし、センスが全く欠如
している割り付け……とい
う悪い材料ばかり見当た
つた。それでも50年代当時

新編集者登場

「おひさま」引退記

いつかは「決断」しなけれ
ばならないと思っていたが、
やはり引退することにした。
スタート当時は、とてもヤ
ング向けの、読み物などは
いえないヒドい紙面で、読者
に少しおもてなす感覚をかけた。投
稿はなし、センスが全く欠如
している割り付け……とい
う悪い材料ばかり見当た
つた。それでも50年代当時

いつかは「決断」しなけれ
ばならないと思っていたが、
やはり引退することにした。
スタート当時は、とてもヤ
ング向けの、読み物などは
いえないヒドい紙面で、読者
に少しおもてなす感覚をかけた。投
稿はなし、センスが全く欠如
している割り付け……とい
う悪い材料ばかり見当た
つた。それでも50年代当時

いつかは「決断」しなけれ
ばならないと思っていたが、
やはり引退することにした。
スタート当時は、とてもヤ
ング向けの、読み物などは
いえないヒドい紙面で、読者
に少しおもてなす感覚をかけた。投
稿はなし、センスが全く欠如
している割り付け……とい
う悪い材料ばかり見当た
つた。それでも50年代当時

オーランク

もう間に合わない
もう二度とあなたに会えないような気がして…
知らないうちに熱いものがこみあげてくる
やはり言ってしまえばよかったです

駅足早に行く

STATION

ホームにはあなたを乗せた汽車ベルが鳴る
あなたを……見つけられない

ア～…

さよなら、あなたへそっとつぶやく

横須賀

人間が集い離散していく
駅としての駅。北海道の
刑事の11年間の人生を通して
男との愛憎と憎しみ出
会いと別離を描いた駅は
冬の華の降旗東昇監修が
健のイメージが貫かれている。
倉本聰が高倉健のために書き
贈ったことから、友情のシナ
リオと呼ばれているが、健さ
くために書きおろした脚本
が企画の始まりとなつたと
いう日本映画としては珍しい
エピソードを持っている。

物語は三上英次という刑事
を中心にして、直子(すず子)
が「オーランク」の基本は
フィードバック以外には
かかった。しかし側面報
が繰り返しになってしまった
が、「オーランク」の基本は
タッチするまじめにいがち
よどよどしゃらがもしれない
丸2年、26歳から28歳へ。や
はらもう限界に近づいた。バトン。
同時に「やうばくシ」と「
なあ」がいつわらの感覚
である。ここに後半に入る
と、もう担当を離れた方がい
いと思う半面、まややめた
いないとの感はまだ残る
ばかり…。だが、意を決して
やはり引退することにした。

スタート当時は、とてもヤ
ング向けの、読み物などは
いえないヒドい紙面で、読者
に少しおもてなす感覚をかけた。投
稿はなし、センスが全く欠如
している割り付け……とい
う悪い材料ばかり見当た
つた。それでも50年代当時

のヤングの愚痴が伝わって
くるよなキャラと光る絵画を
一ひとっぽじで描いただけは高
かった。

54年の10月当時は、
離行苦行の連続で気が
いい。ボクの「弓道録記」。
ボクがこの欄を掛け始めた
のは、54年の10月当時は、
離行苦行の連続で気が
いい。ボクの「弓道録記」。
ボクがこの欄を掛け始めた
のは、54年の10月当時は、
離行苦行の連続で気が
いい。ボクの「弓道録記」。

54年の10月当時は、
離行苦行の連続で気が
いい。ボクの「弓道録記」。

54年の10月当

水年勤続者など表彰

常交38 年式典 部外協力の団体、個人も

常磐交通(野崎清社長)

の第三

十八回会社創立記念式典は十六日

午前十一時から、いわき市平字愛

川町の常磐交通本社ビルに系列各

社の役員、社員および部外関係者

約百二十人を集めて開かれた。

野崎社長が式辞を述べたあと、

系列各社の優良従業員や水年勤続

者無事故運転者、事業協力者へ

の表彰、感謝状贈呈が行われ、合

わせて五百五十四人の受賞者を代

て、鈴木勲社監査課長が「嚴

しい社会情勢の中、愛賞の感激を

胸に心を新たにし、社員丸とな

る」とあいさつした。受賞者のう

ち八停用地の操作、ワンマンカー

の誘導協力など同事業に協

力感謝状が贈られたのは一団体

個人十八人で、市内関係者は次の通

り。

△事業協力者(大泉昌五郎(県

いわき建設事務所)、緑川博(県勿

来木事務所)、青木信蔵(いわき

阿部信(内郷)

松崎七郎(明治園地)、鎌奈要平(小

(同)常陽銀行小名浜支店(小名

市役所)、大平藤(同)水井庄一(時)

ル五十円、ミドリ六十円、マクセ

ル三十円、酒井重三十三円。

主な安い銘柄はソニー一百六

十円、日化成一百四十五円、

理子三百十四円、白銀瓦三百二

円、第一葉四十円、日石三十円、

キヤノン三十円、日信版三十円。

△地元銘柄、吳羽化五百五十九

円、日化成七十七銀出来ず、岡

山の下が影響し、先駆株に利食い

立などは一股。半面、田辺裏、

ミドリ、大正座などの高品株や

下けが大きく、連れて弱電株は軟

弱展開。また住友電や安川電

も買われた。

主な高い銘柄は第一汽田、日

鉄、アマダなどの工作機械株、

常興百五十一円。

△月生(4月生)、あせつもひうじこな

ない、慎重に取り組め

る。

△月生(5月生)、予定どおりに進まない

恐れがある、あせつもひうじこな

る。

△月生(6月生)、多少曲折あるが徐々軌

道に乗る、努力続ければ

不安定運で変化があり

る。

△月生(7月生)、甘い説明には警戒がふ

れる。

△月生(8月生)、急いで思つようにな

る。

△月生(9月生)、悪いのほかチャンスに

恵まれる、信念を持てる

る。

△月生(10月生)、多少困難あるがくじけ

る。

△月生(11月生)、ついで思つようにな

る。

△月生(12月生)、ゆとりを持って

感情に走れば結果悪

い。

△月生(13月生)、冷静に取り組み有利

だ。

△月生(14月生)、ばくへ来たもんだ

(七・三五)、愚え

☆24ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆25ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆26ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆27ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆28ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆29ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆30ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆31ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆32ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆33ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆34ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆35ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆36ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆37ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆38ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆39ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆40ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆41ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆42ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆43ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆44ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆45ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆46ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆47ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆48ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆49ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆50ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆51ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆52ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆53ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆54ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆55ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆56ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆57ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆58ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆59ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆60ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆61ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆62ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆63ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆64ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆65ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆66ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆67ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆68ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆69ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆70ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆71ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆72ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆73ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆74ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆75ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆76ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆77ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆78ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆79ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆80ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆81ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆82ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆83ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆84ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆85ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆86ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆87ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆88ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆89ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆90ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆91ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆92ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆93ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆94ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆95ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆96ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆97ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆98ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆99ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆100ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆101ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆102ビル平松竹(六・〇〇)愚え

☆103ビル平松竹(六・〇